

夏の研究例会

8月19日(日) 14:00~16:50

うるおい館 多目的ホール

夏の研究例会が行われました。

盆明けの多用な時期にもかかわらず、60人近くの方々が参加されました。

研究報告「入善町のフィールドミュージアム基本計画について」田中良一氏(町企画財政課主幹)と 研究発表「黒部川扇状地形成の歴史を考える」君島 勝研究員の二人が熱弁を振るわれました。

入善町では昨年度、基本計画の専門委員会、策定委員会がもたれ骨子が定まってきました。その内容について担当の田中主幹から詳しくお聞きすることができました。フロアーからもハード建設場所、ソフト事業、運営する人材の大切さ等有意義な意見が聞かれました。

扇状地形成については、たくさんのデータや資料等を元に旧扇状地の「隆起説」に対する君島さんの見解や扇頂部の求め方など、これまで隆起扇状地について語られてこなかった問題が提起されました。今後各方面で大いに研究協議をしていきましょう。研究発表ではそうした協議の開始を促す発表となりました。

研究例会後、TREE で25人の方々のご参加で懇親会がもたれました。報告者と発表者を囲んで大いに語り合いました。また、後援団体からは、古本国土交通省黒部河川事務所長さん、藤井入善町商工会長さん、小路連合婦人会長さん等がご出席され一層和やかに、大いに盛り上がった会となりました。

報告者、発表者、そしてご参加の皆様、ありがとうございました。



開会の挨拶 水嶋所長



熱弁を振るう
(上)田中主幹
(左)君島研究員



協議進行の浦山副所長



熱心に聞き入るみなさん



野焼き体験

2018. 8. 25 墓ノ木自然公園 キャンプサイト

ダブル台風の進路を気にしながら、雨を承知で「縄文土器を作ろう 野焼き体験」を行いました。
 工房蝸亭で素焼きをした後、それぞれの作品を焼きました。10時から1時半ごろまでにはできばえ良
 く、見事な作品が完成しました。これが縄文の焼き物の色かとびっくり。
 うるおい館ギャラリーで展示しました。郷土の土を一部使い、縄文風の作品ができあがりました。



野焼き風景



展示会場 8/25～9/1

